箕面市議会電子採決システム導入業務委託 仕様書

1.件名

箕面市議会電子採決システム導入業務委託

2.目的

箕面市議会における採決（賛否）を電子化し、議会運営の透明性および効率性を向上させる。あわせて、議案ごとの賛否結果を議員名単位で分かりやすく表示し、市民への情報提供を明確化する。

3.履行場所

箕面市議会事務局総務課及びその他、本市が指定する場所

4.履行期間

契約締結日から令和9年1月15日まで

5.支払い方法

本業務にかかる費用については、業務完了払いとする。

6.対象範囲（業務範囲）

受注者は、以下を実施すること。

・電子採決システムの提供（構築、設定、必要なカスタマイズを含む）
・クラウド環境での本番環境構築（Webサーバー、DB等）
・監視・バックアップ設定
・運用開始に向けた試験、導入支援、操作マニュアル整備

7.前提・対象会議等

・対象会議：箕面市議会（定例会：年4回）および臨時会（必要に応じて）
・総議席数：23名
・議長は会議に出席するが、賛成・反対の投票には加わらない（本システムでも議長は投票対象外とする）。
・投票端末：議員が手元のPCまたはタブレットから利用する。

8.システム要件（機能要件）

8.1 基本要件（採決）

①議案単位の投票

議案ごとに単独で投票できること。

②議員名ごとの賛否結果表示（リアルタイム性）

開票結果において、議員名ごとに賛成／反対／未投票等が識別できること。

③誤投票抑止（議案誤認防止）

投票は議案単位で行い、投票者が対象議案を誤認しない導線（議案選択→当該議案のみ投票可能）を備えること。

投票中、現在の投票内容（賛成／反対）をラベル等で明確表示できること。

④投票の締め切り／再開

管理者が議案単位で投票締め切り、投票再開を実行できること。

⑤締め切り済み議案の非表示（投票者画面）

投票締め切り済み議案は投票者画面に表示しない（または投票不可が明確に判別できる）こと。

⑥投票締め切りの許容条件

管理者は、未投票者がいる場合でも、議案単位で投票締め切りを実行できること。

投票締め切り後は、当該議案に対する投票者の投票操作を不可とすること（ただし管理者が投票再開を行った場合を除く）。

8.2 投票者（議員）管理

①出席者登録

定例会等の都度、当該会議ごとに出席者（議長を含む）を登録できること。

欠席者は登録対象外とできること（当該会議の投票母数を出席者ベースで扱えること）。

②表示順の指定

議員名の表示順を設定（登録順等）できること。

③議長の扱い

議長は出席者として管理できるが、投票操作および投票案内送付対象から除外できること。

8.3 管理者機能（会議／議案設定・案内）

①会議（採決セッション）作成

会議名等を登録し、当該会議に紐づく議案を複数登録できること。

②議案登録

議案番号、議案名（タイトル）等を登録できること。

③投票案内の送付

投票者（議員）に投票案内をメール送付できること。

④議会一覧（会議一覧）

会議一覧から会議を選択し、当該会議の投票状況確認・投票締め切り等の操作画面へ遷移できること。

8.4 投票状況・開票結果表示

8.4.1 投票状況画面（管理者用）

・議案ごとに投票状況（未投票／投票終了等）を表示できること。
・管理者操作として投票締め切り、投票再開を議案単位で実行できること。
・「画面更新」等の操作により最新状態を取得できること。
・表示する集計項目は、少なくとも以下を含むこと。
　賛成数、反対数、未投票者数、総投票数
　（未投票者数に議長は含めない）

8.4.2 開票結果画面（表示用）

開票結果画面は、議案単位とし以下を満たすこと。
投票締め切り前でも開票結果画面を表示できること。

①集計表示項目

・開票結果に表示する項目は、次の項目とすること。
　会議名、議案名、賛成数、反対数、総投票数

②議員別結果表示

・議員名を並べて表示し、賛否が即座に判別できる表示であること。
・議長は「ー」と表示すること。
・全議員の投票結果が 1 画面内に収まるよう、列数を増やす等(例:3 列表示)のレイアウト工夫を行うこと。

③未投票者欄（条件付き表示）

・開票結果画面に、「未投票者」欄を設け、未投票者の議員名を表示できること。
・未投票者が存在しない場合は、当該「未投票者」欄を表示しないこと（欄自体を非表示)。
・未投票者の定義は、当該議案について投票締め切り時点までに投票が記録されていない者とする。

8.5 投票画面（投票者用）

①議案の一覧表示

登録した議案を一覧で表示し、議案ごとに投票画面へ遷移できること。

投票締め切り済み議案は表示しない（または投票不可とする）こと。

②投票操作

当該議案に対して「賛成」「反対」のいずれかを選択して投票できること。

投票完了後に投票内容（賛成／反対）を明示すること。

③画面更新

投票者画面にも「画面更新」等で最新状態を反映できること。

9.非機能要件

9.1 提供形態（クラウド）

・受注者が提供するクラウド環境上に本番環境を構築・提供すること。
・PC またはタブレットの Web ブラウザで利用できること（インストール不要が望ましい）。
・監視・バックアップをクラウド環境で実施できること。

9.2 性能・同時利用

・出席者最大 23 名＋管理者操作を想定し、投票操作・結果反映に支障がないこと。
・管理者アカウントのみ複数人が同時にアクセスできること。

9.3 認証方式（メールのワンタイムリンク）

・投票者認証はメールのワンタイムリンク方式を基本とすること。
・ワンタイムリンクは推測困難であり、適切な有効期限等の安全措置を講じること。
・議長は投票案内送付対象から除外できること。

9.4 監視・バックアップ

・Web サイト（死活等）の監視ができること。
・データベースのバックアップ（日次等）ができること。
・バックアップ世代、保管期間を提示すること。
・障害時の復旧手順（バックアップからのリストア等）を提示できること。

9.5 セキュリティ

・通信の暗号化（SSL/TLS）を行うこと。
・利用者認証（ワンタイムリンク等）により第三者の投票を防止すること。
・個人情報（メールアドレス等）を取り扱う場合、適切に保護し、目的外利用しないこと。

9.6 ログ・監査性

・投票、投票締め切り、投票再開等の操作ログを取得できること。

・投票結果（議案・議員別賛否・時刻等）を会議単位で保存できること。

9.7 自動ログアウト

・管理者画面における未操作時間の自動ログアウトまでの時間は発注者が指定する時間とする。

10.成果物

受注者は最低限、以下を提出すること。

・設計書（必要範囲）

・本番クラウド環境（Web/DB 等）構築一式、設定情報

・操作マニュアル（管理者用／投票者用）

・試験計画書・試験結果報告書（運用テスト、受入支援を含む）

・運用保守手順書（監視、バックアップ、障害対応、問い合わせ窓口）

・本市と実施した協議等の議事録一式

11.受入試験（検収）要件

以下が確認できたことをもって検収の条件とする（詳細は協議のうえ確定）。

・ワンタイムリンク認証で投票できること（期限等の安全措置含む）。

・議長が投票・案内送付対象から除外されること。

・欠席者を登録対象外にでき、出席議員数が正しく集計されること。

・投票者は、議案単位で投票ができること。

・管理者は、締め切り、再開ができること。

・未投票者がいる状態でも、管理者が議案単位で投票締め切りできること。

・更新操作により最新の投票状況・開票結果が反映されること。

・開票結果が 1 画面内で全議員分表示できること。

・議長は投票者と別で表示されること。

・未投票者がいる場合、開票結果画面に未投票者欄が表示され未投票者名が表示されること。

・未投票者がいない場合、開票結果画面に未投票者欄が表示されないこと。

・ログ、バックアップ、監視設定が実施されていること。

12.導入・移行・教育

・事務局によるユーザ運用テスト（受入）に協力すること。

・操作説明（事務局向け、議員向けの簡易説明）を実施すること（回数・方法は協議）。

14.秘密の保持

本業務の実施にあたり知り得た情報については、本業務の遂行のみに利用することとし、情報の流用、部外者への漏洩、公表は一切禁ずるものとする。

15. 個人情報の保護

・個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、外部に漏洩することがないように厳重に管理し、「個人情報の保護に関する法律」を遵守すること。
・受託者は本市の情報セキュリティポリシーに定める事項を遵守して本業務を実施すること。

16. その他留意事項

・本仕様書に記載のない事項においても、目的達成に必要な機能・設定がある場合は受注者から提案すること。
・本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項については、双方協議の上決定するものとする。なお、その際に受託者において議事録を作成し、本市の承認を得ること。
・運用フロー（投票開始→締切→開票表示）を、事務局の実運用に沿って協議のうえ確定すること。

以上